

製品名: BRS-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07667**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	BRS3
別名	BRS3; Bombesin receptor subtype-3; BRS-3
遺伝子 ID	680.0
SwissProt ID	P32247
免疫原	抗血清はヒト BRS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

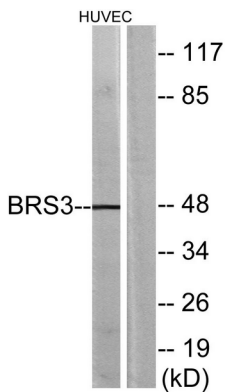
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ボンベシン様ペプチドに結合する G タンパク質共役膜受容体である。この結合は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化し、代謝率、グルコース代謝、高血圧の調節など

の生理学的効果をもたらす。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]機能: 精子細胞の分裂、成熟、または機能における役割。この受容体は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質と結合することで作用を媒介する。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 精巣の生殖細胞。肺癌細胞。

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



BRS3 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。